



大北小だより

9月号

平成26年 9月 1日

練馬区立大泉北小学校

校長 小島 英樹

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-ky.ed.jp/>

“公共の場”での“公衆マナー”を身につけるために

校長 小島 英樹

「じゃあ上がって、身体を洗おうか。」「うん。」

『えっ、これから身体を洗う？ おいおい順序が反対でしょう！？』

旅先で露天風呂に浸かり、ゆったりと手足を伸ばしていた時に、先に湯船に浸かっていた父親と兄弟の子供が交わした会話です。

数分後、私も湯船を出て、タオルを絞って身体を拭いていると、せっかく拭いた身体に、雨のようにたくさんの水滴がかかってくる。振り返ると、先ほどの兄弟がシャワーの湯を全開にして互いにかけて合っています。湯はほとんどが、3メートルも離れている私のところにまで飛び散ってきます。

さすがに注意しなければと思って立ち上がろうとする直前、兄弟は笑いながら、びしょ濡れの身体で脱衣場の中に走り込んで行ってしまいました。後には父親と兄弟が使っていた椅子と桶が、ころがったまま残されていました。

かつては家庭に風呂はなく、誰もが銭湯（公衆浴場）を利用していました。ですから、人の迷惑になるような行為は子供といえども決して許されませんでした。湯船の中ではしゃいで他人に湯をかけようものなら、見ず知らずの大人からも容赦なく叱られました。まして、身体を洗いもせず湯船に飛び込むなど、最も許されない行為でした。

また、風呂から上がる時は、手ぬぐいを堅く絞って全身の水滴を完全に拭き取ってからでなければ、脱衣場に入ることは許されませんでした。だからバスタオルを使う必要はありませんでしたし、そもそもバスタオルなどというものは世の中に存在しませんでした。

多くの人を利用する公共の場であるからこそ、湯船の中の湯を汚したり、湯を無駄に使ったり、必要以上に広い場所を独占したりすることを戒めたのです。そのために親はもちろん他人でも、世間の常識やルールが守れない者に対しては、みんなで間違いを指摘し、社会のルールを学ばせようとしたのです。銭湯は、社会のルールや公衆道徳を学ばせる大切な場でもあったのです。

ところが現代は家庭風呂が普及し、入りたい時にいつでも何度でも入ることができますし、身体を洗わなかろうが、どの方向にシャワーを向けようが、びしょ濡れのまま風呂から上がろうが、目の前にはふわふわのバスタオルが用意されているので、わざわざ風呂場で身体水分を拭き取る必要がなくなりました。

学校では、5・6年生になると移動教室があります。教員は、事前に公共の場での過ごし方を何度も指導し、その中で入浴の仕方も事細かに指導します。しかし、公共の場でのマナーを実際に行動に移すのは生まれて初めてのことなので、現地では教員がつきっきりで指導に当たります。

おそらく多くの子供たちにとって、移動教室以外には今後も公衆浴場でのマナーを学ぶ機会はないだろうと思い、この貴重な機会にしっかり身につけさせようと教員は汗だくになって指導に力を入れます。この貴重な経験が、次の家族旅行や将来親になった時の子育てに生かされることを期待しながら。

来月は、5年生が初めての移動教室に出かけます。

着 衣 泳 (4 年 生)

4年 京田 華子

4年生では7月8日(火)に着衣泳を行いました。毎年海や川での悲しい事故があります。大北小では、そんな事故に巻き込まれないようにと毎年4年生で着衣泳を実施しています。

水の中でおぼれてしまったり、着衣のまま入水してしまったりした場合の鉄則は「浮いて待つ」ことです。服を着ていると体が重くなり動きにくいですが、顔を出して浮くこと、衣服を脱ごうとしないことが重要です。また、おぼれている人を見つけても自ら助けには行かず、大人に知らせることや、ひもをつけたペットボトルに少量の水を入れ、投げ入れる救助の仕方を実際に見て学びました。



洋服の重さを感じながら、いざ着衣泳スタート！！



袋を使って浮く練習や、海で遭難した場合は静かに浮きながら体力を温存するなど、もしものときの備えを学びました。

町たんけん（2年生）

2年 渡壁 顕

6月24日(火)に生活科の授業で、町たんけんに出かけました。肉のかしわざき、くらずし、サイクルベースあさひ、サイゼリア、スーパーサカガミ、スーパーバリュー、ちょうしまる、ファミリーマート、ミニストップ、やすらぎミラージュ、坂口米店、大泉図書館、大泉桜高校、大泉北中学校、郵便局、北大泉保育園・児童館、氷川神社、地域の公園6カ所の中からコースを選びました。クラスでは、事前にグループで質問を考え、インタビューの仕方、挨拶の練習などをしました。当日は、質問に優しく答えて頂いたり、普段見ることのできない場所を見せて頂いたりしました。子供たちは、新しいものを見たり聞いたりする中で、新しい発見をたくさんすることができました。町たんけん後のグループごとの発表では目をキラキラさせながら調べてきたことを自信をもって発表していました。保護者の皆様には、グループごとに子供たちを安全に見守って頂きました。有意義な体験学習ができましたことを感謝いたします。



9月行事予定表

◎今月の生活目標： 登校・下校の時刻を守ろう けじめのある生活をしよう
進んであいさつをしよう

日	月	火	水	木	金	土
8/31	1 全校朝会 給食始	2	3 すっきり生活始	4 連合水泳記録会6年	5 連合水泳記録会6年予備日 水泳指導終	6
7	8 全校朝会 計測6年 委員会	9 1年セーフティ教室 避難訓練(地震) すっきり生活終 計測5年 5年岩井移動教室 説明会 (14:50~)	10 児童集会 4時間授業 安全指導 計測4年	11 月曜時間割 計測3年 クラブ 航空写真撮影	12 計測2年	13 土曜授業公開 (金曜時間割)
14	15 <u>敬老の日</u>	16 計測1年	17 栽培委員会集会	18 歯垢染色指導4年	19 B時程	20
21	22 全校朝会 クラブ	23 <u>秋分の日</u>	24 けやき班遊び	25 歯科染色指導6年 道徳地区公開講座 保護者会456年 (14:30~)	26 道徳地区公開講座 保護者会123年 (14:30~)	27
28	29 全校朝会 委員会	30 遠足2年 4年リサイクル教室	10/1 <u>都民の日</u>	2 児童集会 生活科見学1年	3 岩井移動教室 前健診5年	4

開校40周年記念誌の全体写真について

現在、記念誌作成の準備を進めています。11日(木)には、児童から公募したデザインを人文字で表す航空写真の撮影を行います。また、全校児童、教職員が一堂に会する集合写真及びクラス写真を掲載する予定です。そこで、個人情報の観点から写真に写りたくない場合には、連絡帳等で担任にお申し出ください。

『めざせ！！スッキリ生活～元気アップチャレンジ週間～』の取り組みについて

養護教諭 岡村 美枝

本校では毎年、夏休み明けの1週間、『めざせ！！スッキリ生活』に取り組みます。

生活習慣の乱れは、心身の健全な発育成長に悪影響を及ぼすだけでなく、児童の学習意欲や体力・気力に大きな影響を及ぼします。特に【早寝・早起き・朝ごはん・運動・排便】の5項目は学校生活を元気に楽しく送るためにとっても重要です。今年度はこの5項目について自分の生活習慣をチェックし、自分自身の生活を振り返ります。保護者の方には、お子さまが意欲をもって取り組めるよう、励ましの言葉やカードのチェックをお願いいたします。

児童自身が、生活習慣を大切に「スッキリした！！」「元気だった！！」と体感できるようになってほしいと願っています。

副校長通信

「うれしい言葉」

副校長 城崎 真

夏季水泳指導中、時間があれば水泳指導に参加して泳げる子が一人でも増えるようにと指導に行きました。指導したことを守り、一生懸命努力して平泳ぎをマスターしてくれてうれしかったです。また、プール内のゴミを網で掃除していると「ありがとうございます。」と言ってくれた子もいました。

こういう子がたくさんいる大北小にしていきたいです。